

# 園芸リハビリ舞台整う

社会医療法人北斗(鎌田二理事長)が整備する「北斗福祉村」(帯広市稲田町基線2)のガーデン「星の庭」の第2期工事が完了した。園芸療法士が手掛ける道東初のガーデンとして、園芸をリハビリに活用。「共生社会の実現」をコンセプトに、地域交流をより一層進めるスペースとしても活用したい考えだ。

北斗福祉村の整備は、2  
リハビリテーションセンター  
013年から本格化。十勝  
1、サービスタ付き高齢者住  
宅あやとり、介護老人保健  
施設かけはしが隣接する環  
境も生かし、医療と介護の  
融合を進めながら、新たな



完成した北斗福祉村ガーデン「星の庭」

## 北斗福祉村に「星の庭」完成



花壇を整備するボランティアアガーデナー

### 計6700平方メートル 「地域共生の場」

「星の庭」は、同法人の25周年記念事業として19年5月に着工。既存の東側エリア(3123平方メートル)の第1期工事に続き、このほど、西側エリア(3630平方メートル)の第2期工事が完了した。

「星の庭」にはカエデやモミジなどの樹木のほか、150種ほどの宿根草が植えられている。園芸療法で作られた花壇も設置。あずまやも設けたほか、緑が広がる芝生と小道には、ちよつとした勾配がある丘も設けるなど、散歩を楽しめる雰囲気

また、野菜などを育てる一角として「星の庭ファーム」も設ける。施設入所者・利用者や職員、地域の幼稚園児などが一緒になつて、トマトやキュウリ、ジャガイモなどを育てる。花壇にはエディブルフラワー(食用花)やミントも植え、収穫した作物や花は施設のイベントなどで用いる考えだ。

介護老人保健施設かけはし自立支援部のアガーデナー・菊池加津人さんは、星の庭ファームや花壇を地域住民と一緒に整備したり、広い芝生で遊ぶ子どもたちの様子を園芸療法に取り組み入所者・利用者が見守ったりするなど、「地域共生の空間として、地域のひとと一緒に庭をつくっていきたい」と話す。(松岡秀宣)

介護老人保健施設かけはしは、「星の庭」で活動するボランティアアガーデナーを募集している。今後はガーデンの手入れなど活動が本格化するため、自立支援部アガーデナーの菊池加津人さんは「一緒に庭をつくりませんか」と呼び掛ける。6月22日には、第2期工事エリアで8人のボランティアアガーデナーが作業を実施。南側(15平方メートル)、中央(32平方メートル)、北側(22平方メートル)の各花壇で、アジサイやペロニカ、サルビアなどの花苗計200株の植え込みに汗を流した。現在のボランティアア

### お手入れ一緒に ボランティア募集

アガーデナーは16人。川嶋しのぶ(各回1時間程度)の受講が必要。受講後に「星の庭アガーデナーズクラブ」の一員として活動する。問い合わせは、かけはし(0155-474184)へ。(松岡秀宣)